

地域福祉の動向

増進型地域福祉の推進

桃山学院大学 小野達也

福祉とは幸福をつくること

問題解決よりも「こうなれば
いい」を追求

地域のまちづくりを楽しむ

社会福祉が地域レベルまで降りてきた

①戦後 **貧困問題** 公的扶助 貨幣的ニーズ 国



②70年代 **障害者問題** 入所型福祉 非貨幣的ニーズ 府県



③80年代後半 **高齢者問題** 在宅福祉 市町村



④2000年代 **さまざまな生活問題** 地域福祉 小地域

2000年以降

地域福祉の 主流化 政策化

地域福祉の政策化 2010年代半ば～

中央政府が、政策として地域福祉を推進するようになった

2015(平成27)年 新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン

2016年 「ニッポン一億総活躍プラン」(閣議決定)

(地域共生社会の実現が盛り込まれる)

「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部

2018年、2020年 社会福祉法の改正

政策としての「地域共生社会」

ひとり一人の暮らし

- 多様性の尊重
- 気にかける関係性

- 活躍の場づくり
- 安心感のある暮らし



誰もが役割を持てる地域共生社会

- 働き手の創出
- 地域資源の有効活用

- 就労や社会参加の
機会の提供
- 民間企業による
生活支援への参入



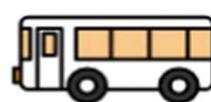
農林漁業



環境



商工業



交通等...

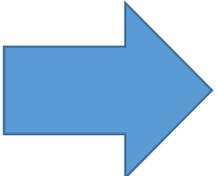
様々な社会・経済活動

地域共生社会とは？

- 「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の**多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく社会を目指すものである。**

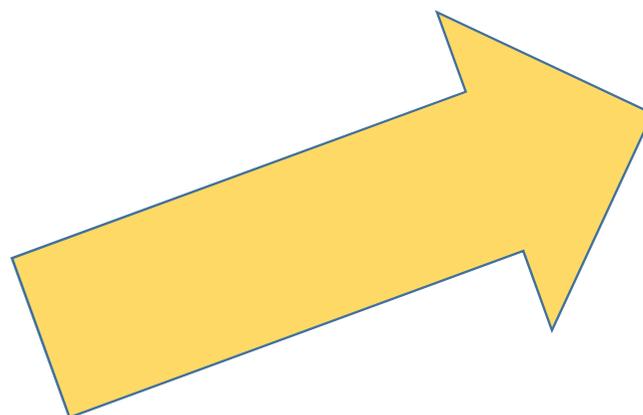
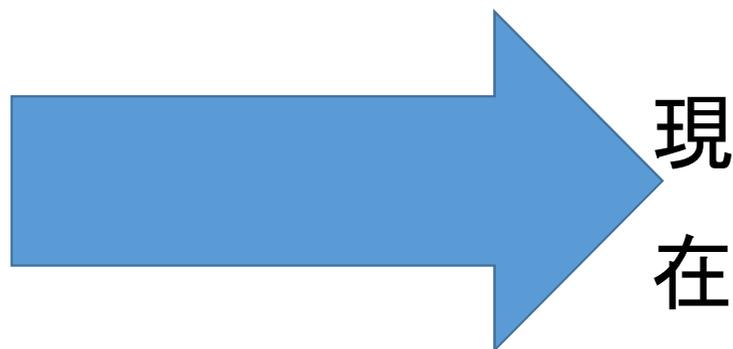
☆しかし地域福祉の政策化への危惧

- さまざまな生活問題の発生
- 政府行政ができないから地域で？
- それは地域社会・住民の手段化
- 福祉の高い質も実現しない

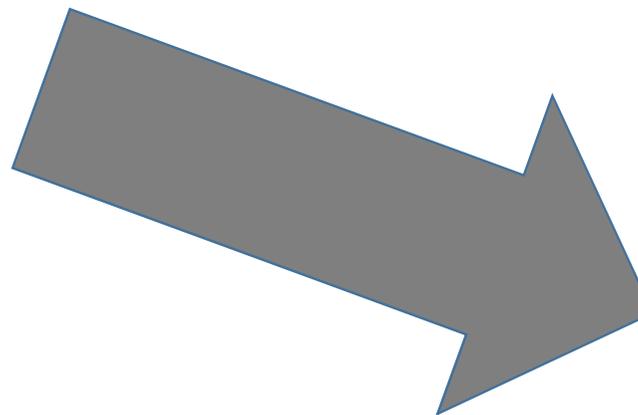
 地域福祉の隘路（先行き不安）

地域福祉の問い直しの必要 どうする？

2
千
年
代
の
地
域
福
祉



真の主流化
地域福祉の実現



下請け化
地域福祉の隘路

語義からすれば

福祉 = 幸福

英語でも

Welfare / well-being → ともに幸せ

すでに世界基準は幸福へ動き始めている

- 国連

GDPから新しい豊かさへ（幸福度）
世界幸福度ランキング 日本は？

- OECD

良い生き方＝生活

How's Life? Measuring Well-being.

『OECD 幸福度白書』2011, 2013, 2015, 2017, 2020

*** これからの福祉は、今の幸せをつくること**

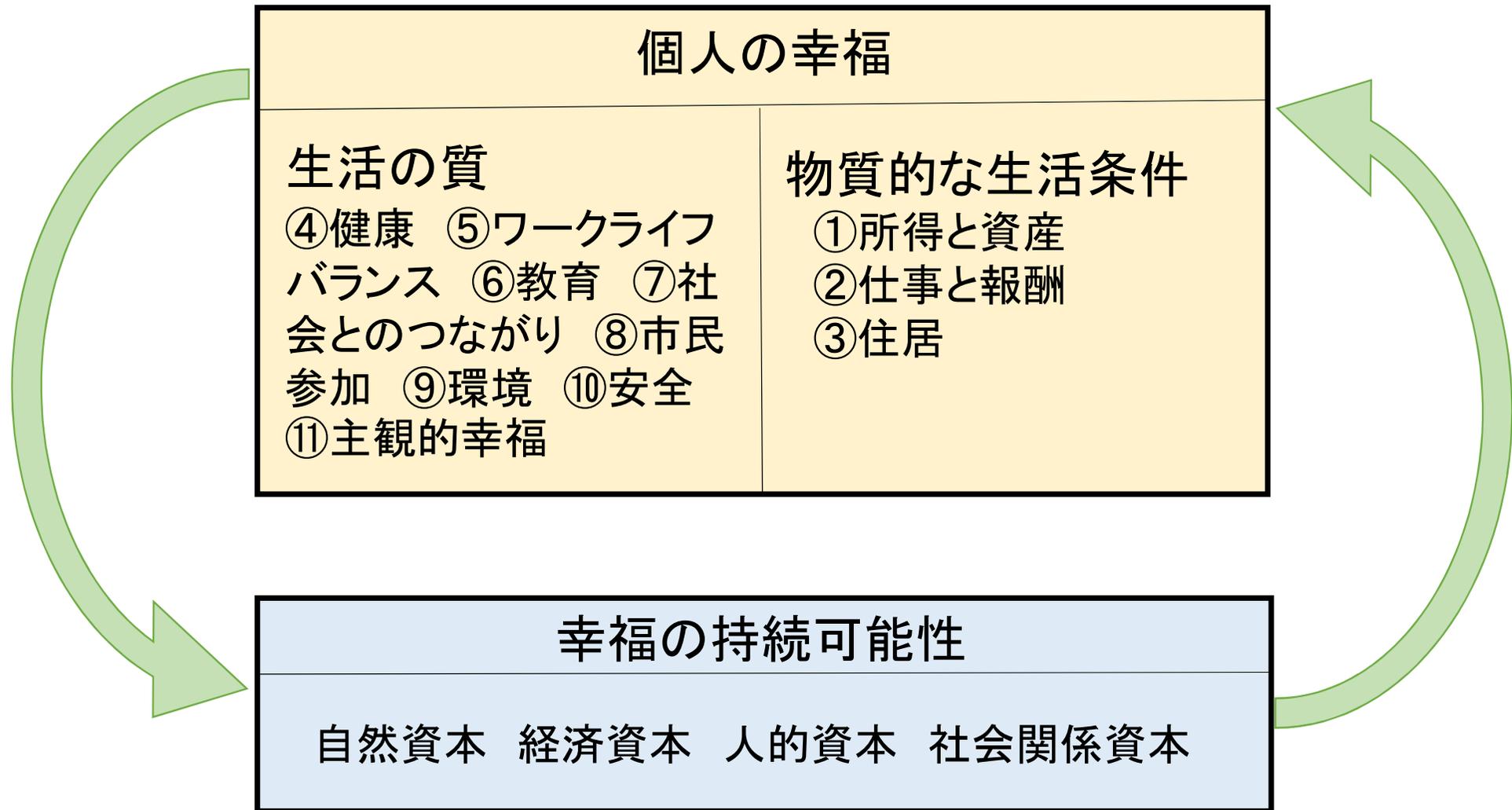
世界の幸福研究の動向 論文数

well-being or happinessを論文タイトルに含む論文
SCOPUSによる検索 2021年3月2日

年代	「幸福」論文 本数
1970－1979年	307
1980－1989年	1,051
1990－1999年	2,407
2000－2009年	7,037
2010－2019年	22,730

OECDの幸福の枠組み

OECD(2015:28)を引用者一部加工



だが、確かに危惧も多くある

- 経済的不平等化 社会的格差の拡大
- 社会的排除の進行
- 人権の抑圧
- 地域社会の荒廃、空洞化
- 環境・自然問題の深刻化
- 各種対立・軍事的紛争の危機
- 民主主義・市民社会の無力化
- コロナ禍
-

福祉の二極化を超えていく必要

幸福への関心に基づく福祉
個人の自己実現と地域社会の継続発展

この方法をつくっていく

幸福実現を志向する
増進型地域福祉

生存が脅かされることに対する福祉
社会的排除・貧困・介護等の基本的生存保障

増進型地域福祉とは

- 増進型地域福祉は、**地域福祉の実現**を目指します。
- マイナスからゼロ(旧状復帰)を目指すではありません。
理想の状態(こうなったらいいなあ)を本人とともに描き出し、協働の実践によってその実現を目指します。
- その結果として、**一人ひとりの幸せと地域の幸せ**をともに生み出す地域福祉です。
- 増進型地域福祉に関わることによってその人の・その地域の**可能性が開きます**。

どうすればいい？①
公的な福祉だけではつukれない

法律や制度
に基づく福祉



地域性
民間性
自発性

どうすればいい② 考え方の転換 問題解決型から目的実現型へ

問題解決型

- 原因を明らかにして、それを取り除いて問題を解決する
- マイナスをゼロにする



目的実現・理想追求型

- どうなればよいかという理想を描いて、その実現を目指す
- 理想の実現へ

どうすればいい③
話し合うことを大切にする

増進型
プロジェクト



- ・高齢者から子どもまで全世代
- ・障害があってもいきいきと
- ・その人らしさ／その地域らしさの実現

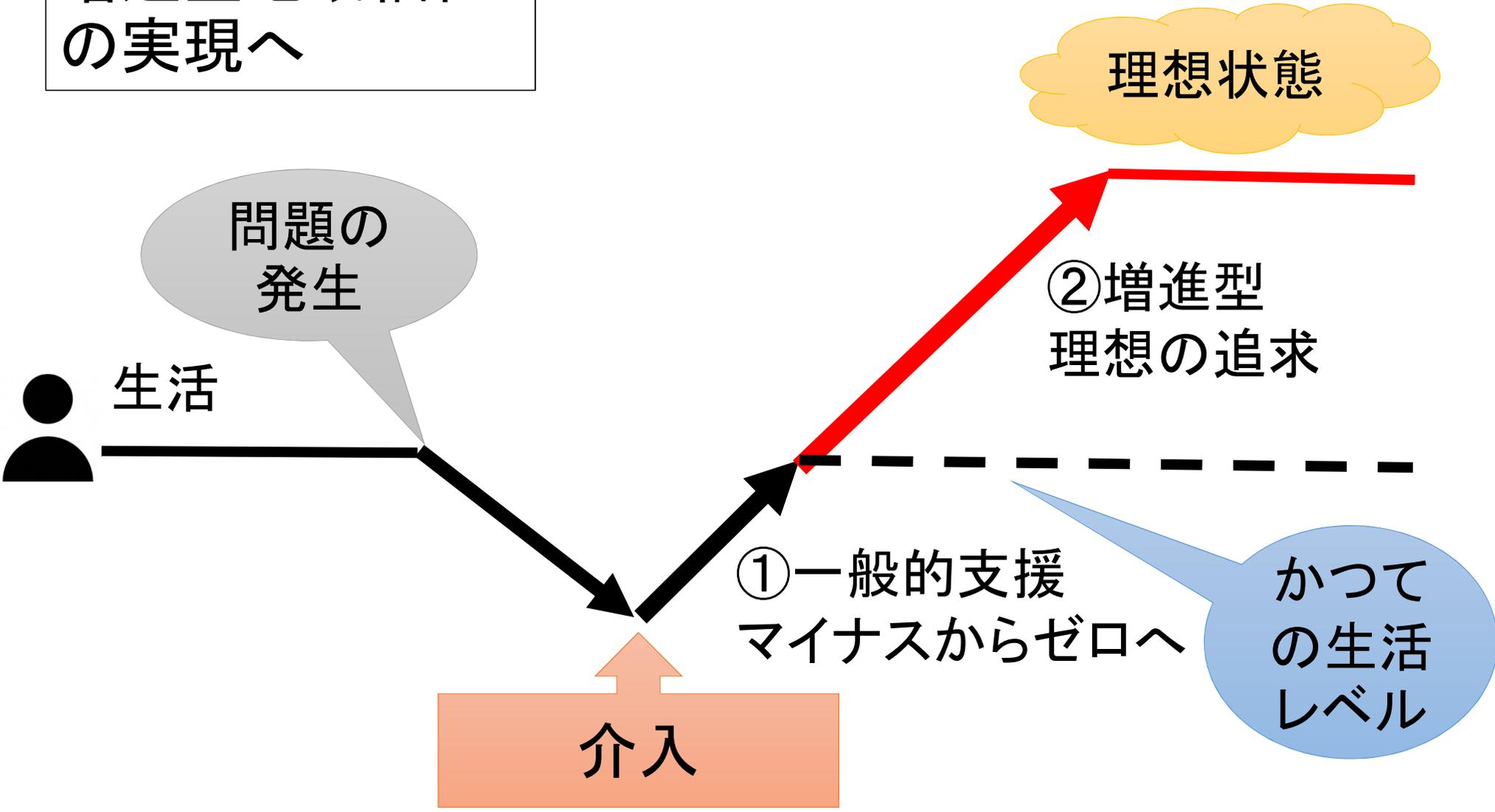
地域の
課題

最初のポイントは、理想を描けるか

- 問題解決型の発想に慣れていて、理想を描けない
- 理想を言っても仕方ない、といわれている
- 理想は一人ひとり違うので、合意ができない

- **発想の転換の必要 →理想を描くことから始まる**
- 理想を考える時点では、それができるかどうかで判断しない
- 面白い理想であれば、達成困難に思えてもやる気が出る
- 理想を描き、その上で、次の段階でその実現方法を考える
- 理想はみんな追求するもの

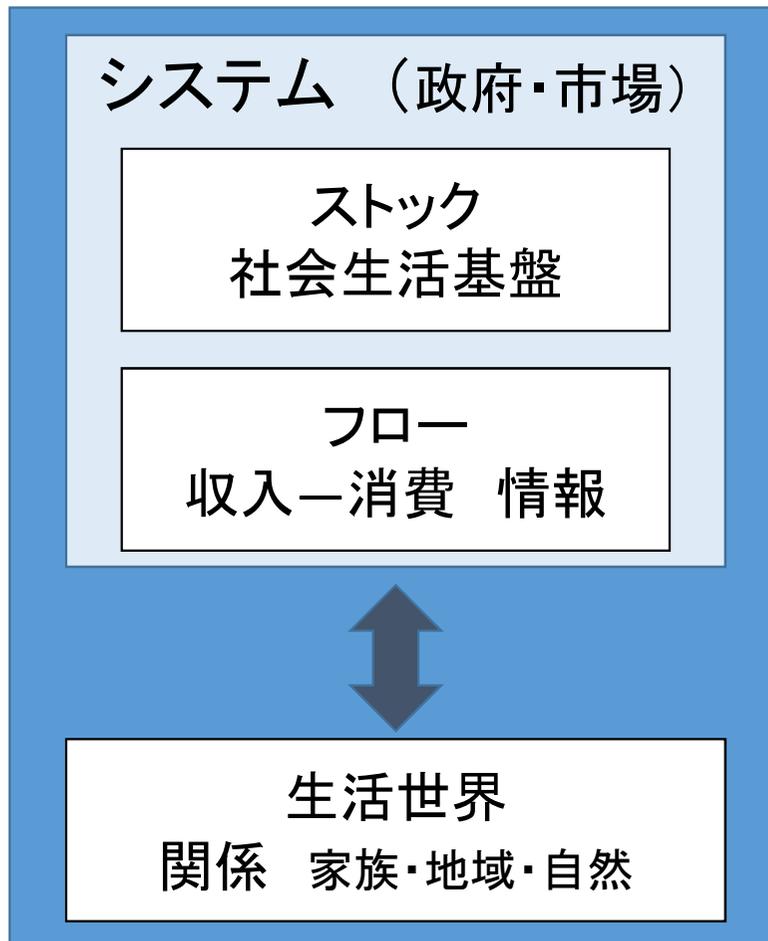
増進型地域福祉 の実現へ



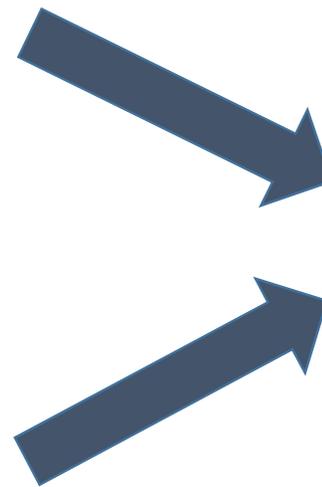
福祉＝幸せのつくり方の転換

- これまで
幸せは、それぞれが追求するもの
個人ががんばって手に入れる（個人主義的アプローチ）
 - これから
幸せは、みんなで作るもの（きょうどうのアプローチ）
成功すれば、その人だけでなく地域が幸せになる
→地域での実践の重要性
- * 地域の幸せをつくっていくことが地域福祉

地域福祉での幸福とは



ウエルフェア



自己実現 その人らしさ
社会実現 その地域らしさ

ウェルビーイング

地域での話し合いの大切さ

- 地域がこうなったらいいという理想を話す
- これができたら面白い
- 楽しく話す（話し合い自体の楽しみ）
- 小さな声を大切にする
- 新しいつながりをつくる

地域の話し合いが生み出す新たな福祉へ

幸せを生み出す地域づくり

行政の支援

社協の支援

さまざまな組織・
団体の支援



おわりに

地域の幸福の実現へ
本気で地域福祉を！